

地球温暖化に  
取り組む

## 「菜の花を植え育てる会」の会員募集中！！

神戸西助け合いネットワークは「菜の花を植え育てる会」を設立しました。現在、連合の組合員をはじめ環境に関心を持っている市民の方々の中で、会の趣旨に賛同頂ける方達を募集しております。菜の花は地域の景観にも良く、花を楽しんだ後に菜種油が採取できます。菜種油は天ぷらなどに使用し、使用済みの天ぷら油は回収、バイオディーゼル燃料に使用することで循環型の社会になり得ます。また、勤労者の方たちのボランティアに参加するきっかけ作りと、都市と農村の交流や自然とのふれあいの場にもなります。皆様の多数のご参加をお待ちしています。そして、未来を担う子ども達への情操教育のためにも、出来るだけ親子の参加をお願いしたいと思います。

### 地球温暖化防止に積極的な活動を開始しました

私たちは、震災復興のお手伝いをするボランティア団体として発足しました。「給食サービス」「移送サービス」「リサイクル活動」などの活動を幅広く行ってきました。いま新たに環境問題で地球の温暖化防止の取り組みを始めました。なお地域のお年寄りや体の不自由な方々のお手伝い（町の便利屋さん）の仕事にも力を入れて、誰もが安心して暮らせる地域づくりに努力しています。お困りのことは何なりとご相談ください。

### 運営に欠かせない大切な資金です

#### 皆様のご支援をお願いいたします

私たち「神戸西助け合いネットワーク」は、震災復興支援を目的に設立された団体です。その運営資金は、自らの活動を通じて得られる「手数料」と皆様からいただく「賛助会費」や行政や支援団体からの「補助金」などでまかなわれております。ひとりでも多く、一団体でも多く「賛助会員」になって頂き、活動を応援して頂きますよう、皆様の暖かいご支援をお願いいたします。

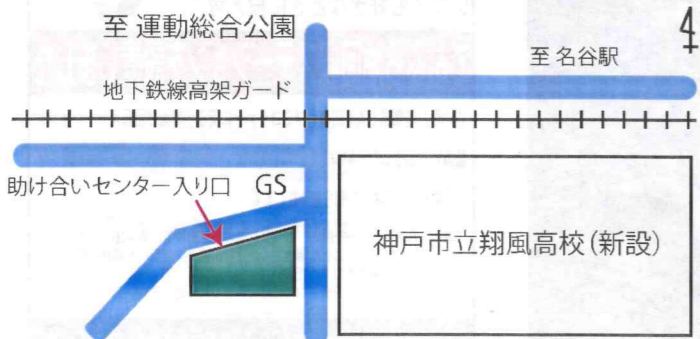
### ■当法人の目的に賛同し、ご協力して下さる「賛助会員」の方を広く募集しております。

- 個人会員(年会費) 一口 5,000円
- 団体会員(年会費) 一口 50,000円  
(賛助会員に関しては一口10,000円から)

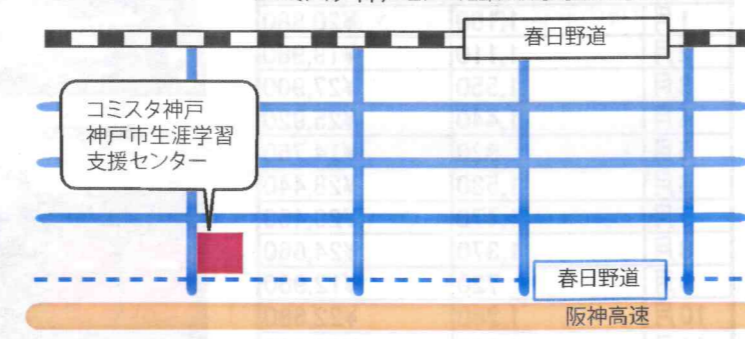
<郵便局への送金用口座>

【名義】神戸西助け合いネットワーク 【口座番号】00960-7-108420

●名谷事務所 〒654-0155神戸市須磨区西落合2丁目1-6  
TEL 078-795-3786 FAX 078-795-4498



●南部事務所 〒654-0076神戸市中央区吾妻通4-1-6  
コムスタ神戸2F TEL/FAX 078-221-3144



## NPO法人 神戸西助け合いネットワーク 私たちの活動ニュース

発行: 〒654-0155 神戸市須磨区西落合2丁目1-6/NPO法人 <http://www.kobe-tasukeai.com/>  
神戸西助け合いネットワーク

平成21年度活動報告  
第7号  
発行 平成22年3月1日  
発行人 在里 俊一  
電話 078-795-3786  
FAX 078-795-4498

■皆様のご理解とご協力に支えられて当NPO

### 平成21年『第一回 賀川豊彦賞』を受賞

平成21年12月22日、神戸市中央区のホテルで第一回賀川豊彦賞の授賞式があった。

この賞は、賀川豊彦がちょうど100年前の12月22日に神戸市中央区にあるスラム街に住所を移した日である。賀川は自分を捨て、貧しい人達に献身的な愛情をもって接し始めた。その重要な日を記念して賀川豊彦献身100年記念事業記念式典が行われた。賀川はその後神戸消費組合、灘購買組合(合併により、現在のコープこうべ)を設立、戦後には日本生活協同組合連合会の初代会長を務めた。



この賀川の功績を称えて、日ごろ地域においてこの賀川と同様に地域に貢献した団体、個人が表彰された。当NPO法人神戸西・助け合いネットワークも日ごろの地域におけるサポートが評価され受賞した。



### 仲間を増やして地域に貢献

在里俊一 神戸西・助け合い  
ネットワーク理事長の話

震災後、15年にわたる活動でこの賞を頂いたことは大変な名誉。仲間を増やして地域に更なる貢献をし、助け合い精神に基づいた地域作りに邁進いたします。また、若い人たちにも賀川先生の活動の理解者を増やしていくきっかけにしたいと決意を新たにしております。





神戸西助け合いネットワークは、1995年の阪神・淡路大震災の直後に、災害者支援と街の復興を目指して、結成しました。それから、早いもので15年が経過いたしました。

2000年までは仮設住宅を中心に被災者支援の活動として、給食サービス、移送サービス活動、コミュニティー支援の活動などを行ってきました。2001年からは地域の高齢者・障がい者の生活支援として活動を強化拡大し、桧の間伐材で木工製品づくりやグループ農園、竹炭工房、市民活動の拠点である「すまいるぷらざ大黒(元の大黒小学校)」の施設

管理などにも取り組んできました。それらの活動を中心に支えているのは、定年後の元気なお年寄りと、子育ての終わった地域のご婦人です。そして、2003年1月には特定非営利活動法人の認証を受けました。

全壊・全焼の被災者支援として始めた家具、家電、日用品、自転車などのリサイクル活動は仮設・復興住宅の住民や年金生活の人たちに大変喜ばれました。と同時に環境問題への取り組みの原点ともなりました。

日本の森林を守るためお役にしたいとの思いから始めた桧の間伐材を活用した木工製品作りや荒廃していく竹藪を何とかせねばと始めた竹炭や竹酢液作りなど、思いを同じくする仲間と共に粘り強く、自然を守る活動に取り組んできました。

2006年11月からは「子どもたちにきれいな地球を!!」をテーマにして、地球の温暖化防止に市民が力を合わせて取り組むこ

とが重要であるとの認識で、連合兵庫の労働組合・企業・市民で温暖化防止に取り組むための「環境ネットワーク」を設立しました。そして、名谷事務所の屋根に10キロワットの太陽光発電の普及啓発に努めています。

同時に地域のご家庭や業務用で使用済みの天ぷら油を回収して、バイオディーゼル燃料(BDF)づくりの取り組みを開始しました。廃油を回収することで地域の皆さんには喜んで頂けるし、これで作るディーゼル燃料(BDF)は、CO<sub>2</sub>がゼロカウントでススも少なく燃費もいい燃料となります。現在の油の回収は月平均約2トンになります。回収した油は当面油を精製している会社に提供しますが、将来的には精製機器を設置して独自にBDFを精製いたします。須磨ニュータウンで出た廃油が、エリアを走るバスやゴミ回収者の燃料になるという理想的なリサイクルを目指しています。

昨年8月22日には第2回の環境フォーラムを開催し、加西市の休耕田の「菜の花を植えて育てる会」を発足させ、10月には加西市の田んぼ6反に菜の花を植えました。今年4月には加西市主催の菜の花まつりに参加、6月には菜種油を収穫し、美味しい天ぷらを食べた後の油でBDFの燃料をつくるという循環型の社会を皆様に体験して頂きました。私たちは、このような活動を通して、地域ぐるみで温暖化防止の活動を実践して行くと同時に、ひとりでも多くの皆様に



ボランティア活動に参加して頂き共に助け合い支えあう地域づくりに取り組みたいと考えています。

## 活動紹介

最近、他地域から協働の話もあり、まだまだ活動は広がっていきます。私たちは「物事を積極的に進める」をモットーに活動してまいります。私たちと一緒にできる活動があればぜひご一報ください。

### 何でも110番



日常生活の中でちょっとした困りごと。例えば家具の移動、不要になった電化製品、網戸の張替え、電気工事、庭の剪定、団地の草刈などのお手伝いをいたします。

### リサイクル品の販売



家具、家電、自転車、家庭用品などリサイクル可能品を引き取り(要手数料)、補修、整備して安価で販売しています。

### リサイクル品の販売



給食サービス、買い物・病院への移送サービス、ふれあい喫茶、地域のイベント(餅つき、盆踊り)バザー、グループ農園、ふれあい農園など。

### 菜の花を植えて育てる会(会員募集)



加西市の行政・市民からの指導を受け、休耕田の荒地化を防ぐために菜の花を植えています。また、天ぷら油を回収してBDFを供給しています。

### 環境ネットワーク



地域ぐるみで環境問題に取り組む、太陽光発電やバイオマスのクリーンな自然エネルギーなどの環境再生可能なやさしい未来を作る活動を行っています。

### 定年後の生きがい出張講座



当NPOのボランティアは、定年後の方が主力です。現役時代の実体験を通して定年を控えた方への参考としてアドバイスなどをお話します。

### オヤジ仕事塾(スタッフ募集中)



人生経験を今後役に立てるべく、企画・立案を実行。バン格拉ディッシュの母子寮支援、高齢者・若者・障がい者への支援、他組織との協力依頼、これらを話し合います。



■環境問題への取り組み

# 加西市の休耕田に『菜の花を育てる』

## ～地元の行政・住民とタイアップして～

トウモロコシが食料から燃料に転化されるなど、環境問題が食料にまで影響してきました。わが国の自給率は、未だに先進国の中で最低の40%です。農地が不足して仕方なく輸入しているのではなく多くの農地が休耕田、あるいはもう既に荒地になって作物を作るのは不可能な状態です。再度耕すにしてもかなりの月日がかかるでしょう。こんな大変な事態になっても政治は動きません。

そこでまず私たちは加西市の休耕田を守ることから始めました。しかし、私たちの活動拠点は神戸ですから交通にはかなり時間がかかります。それ故、手間のかからない菜の花を植えることにし「菜の花を植え育てる会」を発足させました。加西には行政と一緒に活動している「菜の花を育てる会」があり、この会と加西市からの指導を受けてスタートさせました。加西市の方が5反の畑を使い、その隣の畑(6反)を借りました。10月22日に20人が参加し、種と苗(100本)を植えました。1月31日には追肥を終え、2月には間引きをして4月の開花を待ち、加西市主催の「菜の花祭り」に参加。6月には菜種を収穫して、天ぷら油に使った後は廃油として回収し、さらに加工、BDFとしてガソリンの代わりにディーゼルエンジンや農機具に使います。今後の問題として菜の花を収穫した後(6-10月の期間)、畑に何を植えるのが課題となります。あなたもこの「菜の花を植え育てる会」に入会していただき、私たちと一緒に活動しませんか。私たちは出来るだけ多くの地域で菜の花を植え育てたいと思っています。そして地域の人と交流を深め、空き家を借りて週末などを利用し、田舎生活の体験も行おうと計画しています。



菜の花の種付け作業



追肥作業



満開の菜の花畑(今年の資料)

### 編集後記

初めて機関紙なる紙面を作りました。まー、自分で作ってみると、レイアウトや写真の組み合わせを考えていると結構楽しめました。自分が楽しんでいる場合ではありませんが……。次回はどんな物を載せるか明日から考えていこうと思います。(笠木)

## ～環境問題への取り組みにおける活動報告～

いま、私たちが取り組むべき重要課題の一つが環境問題です。特に、地球温暖化防止に市民が力を合わせて、取り組むことが大変重要であります。そこで、名谷事務所の屋根に10キロワットの太陽光発電装置を設置し、平成18年11月から稼働を開始いたしました。

また、平成19年11月より地域のご家庭や業務用で使用済みの天ぷら油を回収して、環境に良いバイオディーゼル燃料(BDF)づくりの取り組みを開始しました。回収することで地域の皆さんにも喜んで頂けるし、これで作るディーゼル燃料は、CO2がゼロカウントでススも少なく燃費も良い燃料となります。

図1:平成21年(1月～12月)

太陽光発電装置の稼働における発電量(Kw)および売電(円)

月度	発電量(Kw)	関電への売電量(Kw)	売電(円)	施設見学(研修会参加)
1	679	200	¥5,006	5人
2	755	145	¥3,629	3人
3	1,046	173	¥4,330	5人
4	1,260	370	¥9,261	15人
5	1,102	423	¥10,206	11人
6	1,060	227	¥5,413	18人
7	946	249	¥5,896	12人
8	1,077	91	¥2,142	14人
9	1,034	179	¥4,179	20人
10	909	302	¥7,039	16人
11	633	178	¥4,158	15人
12	647	78	¥1,872	13人
合計	11,148	2,615	¥63,131	147人

グラフ1:平成21年(1月～12月)

太陽光発電における発電量および関電への売電

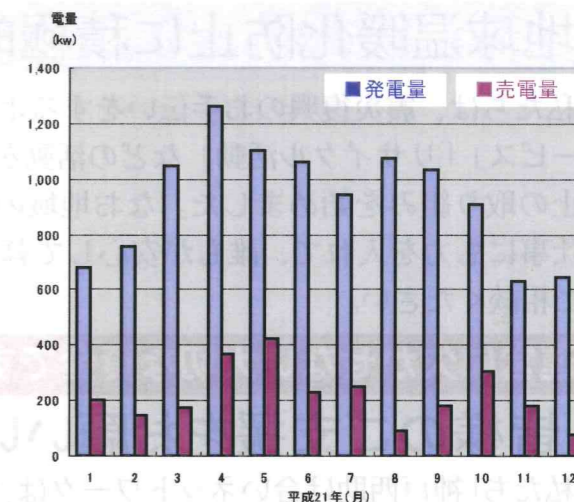


写真1:太陽光発電装置



写真2:太陽光発電システム



写真3:見学者の様子



図2:平成21年(1月～12月)

天ぷら油の回収量(ℓ)および売上(円)

月度	回収量(ℓ)	売上(円)
1月	1,160	¥20,880
2月	1,110	¥19,980
3月	1,550	¥27,900
4月	1,440	¥25,920
5月	820	¥14,760
6月	1,580	¥28,440
7月	1,470	¥26,460
8月	1,370	¥24,660
9月	720	¥12,960
10月	1,260	¥22,680
11月	1,120	¥20,160
12月	1,520	¥27,360
合計	15,120	¥272,160

写真4:天ぷら油回収



写真5:地域看板設置

